

## 日本応用地質学会東北支部見学会に参加して

太田 保

東北地質調査業協会の協賛を受けて毎年行っている見学会を下記の内容で実施しましたので報告いたします。

### 記

日 時：平成5年7月16日 午前7：30～午後7：00

場 所：・日本道路公団磐越自動車道小野工事区  
・建設省東北地方建設局三春ダム  
・日本大学工学部土木工学科

会 費：5,000円

参加者：36人

霧雨の中、早朝の出発でもあったためか多少遅刻された方もおられましたが定刻に対して10分遅れで出発し一路、福島県小野町に向かって快適なバスの旅を楽しみました。天候も、今回の見学者に晴男が多かったためか県境を越えるあたりから晴れてきたため気分は最高、バスの中で自己紹介を実施しお互いが打ち解けて話が弾む中、定刻通り小野工区の大規模切土の現場に到着した。

早速、道路公団の方及び現場の責任者の方から説明を受けた後、花崗岩マサ特有の現場を詳細に見学し、施工管理での苦勞話等を伺った。

次に、トンネル工法カルバートの現場に行き実際にソイルセメントで固めた盛土内をローダーで掘削するデモンストレーションを実施していただいた。この工法は工費の低減と工期の短縮を目的とする最先端技術を駆使した工法で今後普及するものと考えられる。（写真1）

昼食は現場の計らいで集会場でゆっくりと弁当をとる事が出来た。

三春ダムの工事事務所には予定より30分遅れで到着し、早速所長みずからの丁寧な説明をいただいた。その後、実際施工中のダムサイト及び当ダムのシンボルである春田橋（PC斜張橋）を所長みずからの案内で詳しく見学した。

ダムサイトではなぜこの付近だけが岩盤が良好であるかについて議論し、春田橋では工

事用エレベーターで50m上昇し、締結が完了した橋上でタワーをバックに記念撮影を実施した。(写真2)

三番目の見学場所は当支部副支部長の日本大学工学部田野教授のご案内で、岩石の高圧三軸試験やAE（音の放出により初期地圧を推定）のビデオ及び実験を見学した後、展望の良いミーティングルームでコーヒータイムをとった後、仙台に向けて出発し、予定よりやや遅れ濃霧でやや寒い仙台に到着し解散とした。

雨も降らず、無事に見学会が終了と、有意義な時間を持てた事は関係各位の皆様のおかげと感謝いたします。

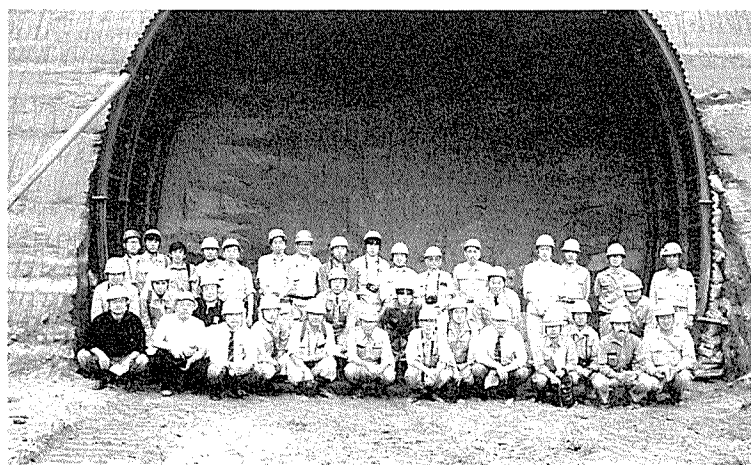


写真1 トンネル工法カルバートの施工現場をバックにして

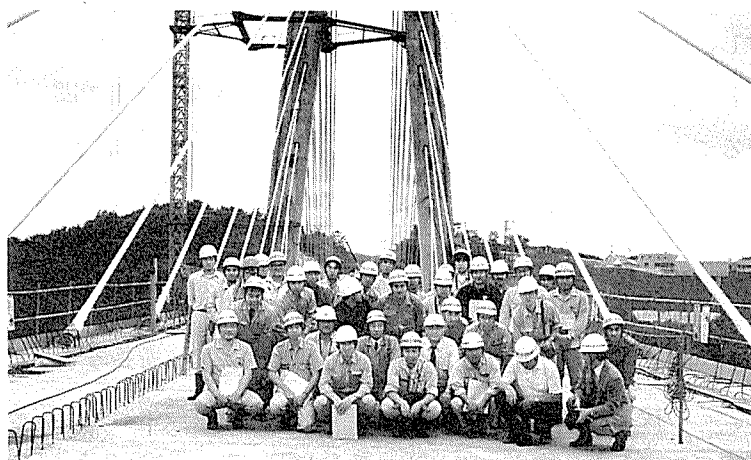


写真2 春田橋のメインタワーをバックにして